

森林火災ノ件數及之ガ對策ニ付テリ  
容全縣ニ於ケル森林火災ノ件數ハ自昭和十二年五年間ノ一ケ年平均一  
三五二件ナルガ之ガ原因別ニ付見ルニ放火ニ因ルモノガ二九件ニシテ  
二%、失火ニ因ルモノガ一、一九一件ニシテ八八%、其ノ他原因不明ニシテ  
ルモノガ一三二件ニシテ一〇%ナリ(詳細別表参照)

森林火災ノ對策トシテハ

國有林野面積五百三十二万町歩ニ付テハ中四百二十八万町歩へ主トシテ  
要存林野ニ對シテハ保護區百五十區ヲ設ケ之ニ森林主筆二百二十六人  
及森林主筆補二四四十九人計四百七十五人ヲ配置シ、雨除ノ百四万町歩  
へ主トシテ不要存林野ニ對シテハ單ニ地方官ヲシテ保護ニ當ラシメツ  
アリ而シテ前記保護機關配補國有林野ニ對シテハ特別對策トシテハ  
卒ニ於テ火災ノ危險最モ多キニ鑑ミ火防巡視員延約十万人ノ大半ヲ同  
卒ニ使役スルノ外恒久對策トシテハ保護職員ニ司法警察官吏ノ職務執  
行ヲ指命シ、國有林野ノ保護取締ニ當ラシムルト共ニ森林令第十條  
ニ依リ地元住民ニ對シ國有林野ノ保護ヲ命ジ連帶ニテ之ガ責ヲ負ハシ

メ保護ヲ報酬トシテ林産物ノ一部ヲ讓與スルコトトシ右保護命令ハ昭  
和十七年末迄ニ七百六十件面積四百十六万町歩ニ對シ之ヲ實施中ナル  
ガ受命部落民ハ夫々保護組合ヲ組織シ保護ノ實績獎勵ニ努メツツアリ  
尙、一般地元住民等ニ對シテハ森林恩惠ノ涵養普及ヲ圖ル爲ビラ  
スター、紙芝居等ニ依リ宣傳ニ努メツツアリ

民有林野面積千九十一万町歩ニ對シテハ氣象台ト連絡ノ上乾燥期ニ於  
ケル空中濕度ノ狀況ニヨリ山火發生ノ危險大ナル場合ハ關係機關ニ警  
告ヲ發スルト共ニ春秋二期ニ愛林週間ヲ設ケ保護組合、愛林學校、保護  
聯盟等關係團體ヲシテ防火職ノ設定、防火訓練、山火警防巡視ノ  
ヲ實施セシムル外防火器材ノ設備、山火警防板、標柱、ホスター等ヲ  
作製スルト共ニ座談會、講話會等ヲ開催シ山火警防恩惠ノ徹底ヲ計リ  
ツツアリ

朝鮮ニ於ケル森林火災

種別	總數			國有別			備考
	件數	面積	價格	件數	面積	價格	
放火	二九	一七七	五	一一	三六三	二	全餘林野面積 一六二萬町步
失火	一一九	三八二	三二〇	二二	一八八	九六六	國有林野面積 五三二萬町步
其他	一三三	五〇二	五一	二二	一〇〇	八	民有林野面積 一〇九萬町步
計	二五一	四四二	三七六	三三	一七四	一〇九	

林産課

一 綿羊増殖計画に実績を付承りし

羊毛自給に農業経営改善の見地より昭和九年度より向  
十一年期十萬頭増殖の目標を獎勵着手し昭和十二年  
より既定計画の強化擴充を圖り十五年（昭和九年起算）  
六十五萬頭を改入支那事変勃発に當り企畫院に於ける羊  
毛生産力擴充計画に順應スル為昭和十四年更に既定計画を  
擴充し昭和二十一年迄六十五萬頭を目標とし第三次綿羊  
増殖計画の樹立を見たる處別表を通其実績、計画に伴ハサル  
ハ農家ニトリ 綿羊ハ未ダ新規家畜、域ヲ脱セザルト腰麻  
痺に依ル斃死 昭和十五年以來輸入頭數、激減を影響甚カ

ラサリシ外指導技術員ノ充實ヲ期シ難カリシニ依ル

尚腰麻痺ニ付テハ昭和十三年ヨリ鋭意調査、結果昭和十  
六年ニ至リ漸ク原因究明セラレ目下文が對策ヲ講ジツア  
リ

農務課

緬羊増殖計画と実績との対照表

年次	輸		入		現在頭数	
	計画	実績	比較	計画実績	比較	
昭和九年	25,000	22,333	111	28,776	5,473	1,400
十年	25,000	27,977	112	28,776	9,388	1,671
十一年	25,000	26,344	113	28,776	12,143	1,545
十二年	26,000	26,000	114	28,776	19,952	1,823
十三年	26,000	51,481	115	28,776	27,445	1,669
十四年	26,000	26,000	116	28,776	37,958	1,917
十五年	26,000	27,777	117	28,776	45,002	2,026
十六年	26,000	46,881	118	28,776	55,415	2,639
十七年	26,000	47,000	119	28,776	62,000	3,224

一、解産羊毛の処分如何（最近三年生産高及処分用途別）  
 解産羊毛は昭和十四年以降大部分單需用トシテ朝鮮  
 陸軍倉庫ニ販賣セリ、又ガ処分状況先表ニ通ナリ

農務課

最近三年ノ解産羊毛生産実績並ニ処分状況

年次	羊毛生産高	全上ニ処分状況	
		單需用供出	自家利用
昭和十六年	126,468	97,865	28,603
昭和十七年	99,666	86,177	13,489
昭和十八年	98,554	90,980	7,574

馬場自治振興會(馬場自治振興會)の活動は、地方自治の発展に貢献した。以下、その活動を記述する。

1. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
2. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
3. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
4. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
5. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
6. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
7. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
8. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
9. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展
10. 地方自治の発展
  - (1) 地方自治の発展
  - (2) 地方自治の発展
  - (3) 地方自治の発展







道別馬頭数表

道名	軍用道格馬	朝鮮馬	滿洲馬	計	合計
京畿道	二四三九	二二八九	四七	三三三六	四六七五
忠清道	三一	一七八	一	一七八	三〇九
忠清南道	一一一	二一〇八	一一	二二一九	六二三〇
全羅道	七五九	六五四八	八	一三五六	三三二五
全羅南道	五九七	三三三八	一	三三三九	二二一五
慶尚道	三〇〇	三〇二六	三	三〇七七	三〇一七
慶尚南道	一八〇	八〇五	一〇	九八九	九九三
黃海道	六四二	一五三三	二	二一七七	二一五七
平安南道	一九八八	四〇四五	二	六〇三五	六〇九九
平安北道	三九九	一七七一	一	二一七六	二〇一八
江原道	七一一	一〇〇	一	一〇二	一三五三
咸鏡道	一七二八	一〇三	一	一八三二	二二〇八
咸鏡南道	一七二六	六二六	一	二三五三	二二三三
合計	一六六六六	四一九三	八三三	二二四九二	五〇五五二



六、輸送力ニ關スル事項

目次

(一) 概説

- 一、物資輸送統制状況如何……………
- 一、海陸輸送連絡調整ノ方策如何……………
- 一、官廳事務ノ刷新對策如何……………
- 一、海陸運送會社合同ニ付テ……………
- 一、國內航勢強化方策トシテ航運行政事務ノ強化……………
- 一、鐵道従業員素質低下ノ擴大ヲモテ若シテアリトセハ之  
方對策如何……………

(二) 海運關係

- 一、海運強化對策如何……………
- 一、昭和十七年度計畫造船ノ成績如何……………
- 一、昭和十八年度ニ於ケル造船計畫之方進捗状況見透如何……………
- 一、計畫造船ノ進捗阻害ノ原因及之方對策如何……………
- 一、造船ノ促進ニ對スル施策如何……………
- 一、朝鮮直轄船數如何……………
- 一、朝鮮直轄船ノ運航統制ノ状況如何……………
- 一、船舶活用對策如何……………
- 一、船舶用燃料ノ配給状況如何……………
- 一、海員養成ノ状況及將來ノ計畫如何……………
- 一、船員需給状況及對策如何……………

(三) 港灣關係

- 一、船員保護施策如何……………七一
- 一、朝鮮海陸運輸會社設立經緯概要……………二二
- 一、主要港灣修築改良計畫ハ如何之ガ工事進捗狀況及  
要功見込如何……………二三
- 一、既設開港ノ利用狀況及貨客吞吐能力如何……………三八
- 一、現在修築改良工事中ノ港灣要功後ノ貨客吞吐能力如何……………六一
- 一、通關手續ノ簡易化ニ關シ考慮シ居ルヤ……………六三
- 一、主要港灣ニ於ケル海貨ノ狀況ト之ガ原因對策如何……………六四
- 一、主要港灣ノ荷役能力及將來ノ擴充計畫如何……………六五
- 一、港灣荷役作業ノ規制狀況如何……………六九

(四) 陸運關係

- 一、港灣荷役ノ增強施策實施ノ狀況將來ノ計畫如何……………七〇
- (一) 國有鐵道
  - 一、最近ニ於ケル朝鮮鐵道ノ輸送狀況如何……………七三
  - 一、貨物輸送量ノ激増ニ對シ採リタル方策如何……………七五
  - 一、昭和十八年度轉廠貨物輸送ノ計畫ト實踐如何……………七六
  - 一、轉廠貨物ノ將來見透如何……………七七
  - 一、鮮内鐵鑛石、石炭ノ増産ニ伴フ鐵道輸送增強方策如何七八
  - 一、轉廠貨物其ノ他鮮内重要物資輸送上陸路トナリ居  
ル箇所ノ狀況對策如何……………七九
  - 一、國有鐵道建設及改良計畫ノ進捗狀況如何……………八一



- 一、線路、車輛、工場等ノ建設、改良、擴張ニ對スル希望、計畫如何
- 一、鐵道局營業收支状況如何
- 一、鐵道運賃値上ニ對スル方針如何
- 一、旅行制限方策如何
- 一、機關車、貨車現有ノ状況ト將來ノ計畫如何
- 一、列車運延ノ原因ト之方對策如何
- 一、物價計畫ニ依ル物資配給制限ノ影響ト其ノ對策如何
- 一、物價勞務騰貴ノ鐵道事業ニ及ボセル影響及對策如何
- 一、鐵道事故及其ノ被害狀況如何
- 一、鐵道委員需給ノ状況ト之方確保ノ對策如何

昭和十八年度事業計畫ノ影響ト之方對策如何

私設鐵道

- 一、私設鐵道ニ對スル將來ノ方針如何
- 一、勸導私設鐵道ノ促進性ト如何
- 一、私設鐵道ノ縣テカ國營代行ノ特長ヲ看ストハ如何
- 一、私設鐵道ノ負擔セラルルガ如何
- 一、私設鐵道員收ノ場合ノ順位理由如何
- 一、私設鐵道沿線重要資産賦存ノ状況及維護力關係如何
- 一、私設鐵道員收計畫ト其ノ員收償額ハ何程ナリヤ
- 一、員收償額決定ノ基礎トシテ至當トスル理由如何
- 一、員收償額決定ニ際シ株式ノ時價ハ如何ニ見ルヤ

- 一、一部買収ノ場合非買収線存線ニテ私鐵ノ營業可能ナリヤー 一一三
- 一、買収線定線ノ最近ノ益金狀態對建設費割合如何 一一四
- 一、買収線定線ニ對スル最近ノ政府補助金交付額ハ何程ナリヤー 一一五
- 一、買収線定線ノ株式時價如何 一一六
- 一、從來買収シタル鐵道ノ買収後ニ於ケル成績如何 一一七
- 一、私設鐵道ノ輸送力擴充上實施セル具體的方策如何 一一八
- 一、朝鮮私設鐵道ノ現況如何 一一九
- 一、私設鐵道ノ最近ノ益金狀態投資額割合如何 一二〇
- 一、私設鐵道ニ對スル最近ノ補助金交付額投資額ニ

- 對スル割合如何 一二一
- 一、各補助私設鐵道ノ最近數年間ノ配當狀態如何 一二二
- 一、政府ノ補助ヲ受ケ居ル各補助鐵道ニ對スル補助ノ期限ハ如何 一二三
- 一、各補助私設鐵道ニシテ近ク補助期限到來スルモノニ對スル補助期限滿了後ノ償還ハ如何 一二四
- 一、私設鐵道ノ建設免許ノ方針如何 一二五
- 一、私設鐵道ノ免許ニ際シテハ補助金ヲ與フルヤー 一二六
- 一、小運送業ノ狀況及之ガ統制方針如何 一二七
- 一、自動車交通其ノ他
- 一、群内自動車交通事業ニ對スル將來ノ方針如何 一二八

一、自動車營業ノ状況ト運送營業トノ連絡調整ニ  
 關スル方針如何  
 一、自動車現有數ト野來ノ計畫如何  
 (四)航空輸送關係  
 一、航空機工業培養状況如何  
 一、航空輸送事業ノ現況及助成方針如何

REEL No. A-0554

0229

アジア歴史資料センター



問) 物資輸送ノ統制状況如何

答) 朝鮮ニ於ケル海上物資ノ輸送ニ就テハ輸送ヲ要求スル者(荷主スハ其ノ代理者)ヨリ當該物資ノ出入荷團體ニ所定ノ様式ニ依ル配船申請書ヲ提出シ之等統制團體ハ前月五日迄ニ輸送要求調書ヲ當該物資ノ擔當課ヲ通ジ鑛工局ニ提出ス  
鑛工局ニ於テハ調書ヲ取纏ノ上交通局ニ送付ス  
交通局ニ於テハ右通達ニ基キ前月二十五日迄ニ關係各局課ト協議ノ上輸送計畫ヲ樹立シ株式會社朝鮮船舶運航統制會ニ輸送方指令スルモノトス

(交通局)

問) 海陸輸送連絡調整ノ方策如何

答) 本案ノ戰時運營ノ根本的方策ハ陸運(海運)ノ綜合的運營ニ依ル能率ノ増強ニ俟ツ處緊要ナルモノアルヲ以テ既設各港運會社及朝鮮運送ノ全体的(元)的整備ヲ先行シ以テ昭和十八年十二月一日ヨリ新會社朝鮮海陸運輸株式會社ヲ新發定ヲ見テリ而シテ政府輸送連絡ノ方法及調整ハ海陸輸送協議會ナルモノ設置セラレ貨車輸送海上輸送港灣荷役カノ見當ヲナシ輸送ノ萬全策ヲ講ジ居ル実情ナリ  
尚各主要港毎ニ現地連絡委員會ナルモノ組織セラレ極力輸送ノ円滑ヲ計リ居レリ

(交通局)



(問)(答)

官廳事務ノ刷新對策如何  
左ノ通

一、遞信官署ニ於ケル現業事務ニシテ不要不急ト認メタル左記取扱ハ  
當分ノ内之ヲ取扱ハザルコトト爲シタリ(昭和十八年度以降新ニ實  
施シタルモノ)

ノ 郵便爲替貯金事務中ノ取扱休止事務

(イ) 郵便爲替貯金ノ拂渡濟通知及拂渡濟否取調

(ロ) 郵便振替貯金ニ關スル左ノ取扱

(ハ) 電信拂込、電信振替及電信現金拂

(ニ) 拂込書、拂出書、拂出通知票又ハ拂出證書ノ航空郵便ニ依ル  
送達

3

(ホ) 證券ニ依ル拂込

(ヘ) 拂込、振替又ハ拂出ノ取消

(ト) 拂渡ノ停止

(テ) 振替貯金ニ加入セル銀行ガ特ニ指定セラレタル銀行ニ於ケル  
自行ノ當座勘定口ニ對シテ爲ス貯金ノ振替

(リ) 郵便切手及證券ヲ以テスル郵便貯金ノ預入

二、將來遞信官署取扱事務ヲ制限セント爲シ居レル事項左ノ通決定シ  
居レリ

郵便爲替貯金事務

郵便貯金、郵便振替貯金、郵便爲替、年金恩給ノ支給歳入金  
ノ受入及歳出金ノ繰替拂渡ニ關スル事務ノ取扱停止又ハ制限

三、現下ノ財政金融事情ニ鑑ミ昭和十六年七月閣議決定ノ財政金融基  
 本方策要綱ニ基キ政府資金ノ運用統一ヲ圖ル爲大藏省ト協議ノ上昭  
 和十八年度以降朝鮮簡易生命保險及郵便年金關係資金ハ保險契約者  
 及年金契約關係者ニ對スル貸付ヲ爲ス場合ノ外總テ大藏省預金部ニ  
 預入スルコトト爲セリ

(註) 朝鮮郵便年金事業ハ昭和十八年十月一日ヨリ實施シタルヲ以  
 テ之ガ積立金ノ運用ハ昭和十九年度ヨリ開始スルコトトナル  
 モノトス

(逓信局)

海陸運送會社合同ニ付テ

現下戰時經濟運送ノ重点ハ運輸カノ能率發揮ニアリ之ガ為港灣運送業陸上小運送業ノ全体的ニ一元化整備ハ陸運並ニ海運ノ綜合的増強ニ資スルコト緊要ナルヲ以テ今般陸上小運送業者タル朝鮮運送株式會社(資本金三五〇万円)ト港灣運送業者タル嶺南浦海州仁川群山木浦馬山釜山浦項元山城津各港運株式會社ト合併シテ記要領ニ依リ十月一日朝鮮海陸運送株式會社(資本金三八五〇万円)ヲ設立シ戰時下港灣荷役力増強及海陸一貫輸送ノ充遂ヲ期セシメ

要領

- 一 可及的運ニ制令ヲ發布シ其ノ國家的使命ヲ明確ナラシムルト共ニ政府出資又ハ補償若ハ補助ヲ方達ヲ請ハルモトス
- 二 朝鮮會社設立上ノ諸手續ハ十一月末日迄ニ終ラスルモトス
- 三 釜山港ニ於ケル運送船作業取扱者タル岸山兄弟商會ヲ合併スル

朝鮮會社運送業ノ重大性ニ鑑ミ不在常務重役ヲ認メテ朝鮮在住者中ヨリ之ヲ選任スルノ方達ヲ請ハルモトス

此等ノ措置ニ依リ海陸運送業ノ一元化ニ伴ヒ官廳機構ニ於テモ埠頭作業ノ一元化ニ對處シ港灣行政權ノ綜合運送業ノ期スルノ方達ヲ請ハルモトス



(問) 國內能勢強化方策トシテ航空行政事務ノ強化

(答) 先般朝鮮總督府機構改正ニ依リ航空行政ハ逓信局ヨリ新設交通局ニ移  
管サレタルガ移管ト同時ニ従来通信ノ分野或ハ一般行政ノ分野ニ屬シタル  
航空通信、航空無線導線施設及航空氣象ニ関スル事務ヲモ航空行政  
ニ包含セシメ航空保安施設ハ統合強化ヲ圖リ決戰態勢ニ即應セシム  
ルニトセリ尚地方廳トシテハ従来ノ飛行場ヲ廢止シ京城、大邱、清  
津ニ航空管區所ヲ置キ管内航空保安施設ノ保守運用ニ當ラシムル  
コトトセリ

(交通局)



(問)

鐵道從事員素質低下ノ虞ナキヤ若シアリトセバ之ガ對策如何  
(答) 逐年急激ナル局務ノ進展ニ伴ヒ從事員モ亦年々増加ノ一途ヲ辿リ  
毎年大員ノ新規採用ヲ爲シタル結果鐵道業務遂行上最モ重視スベ  
キ經驗者ノ相對的減少ヲ來シ特ニ下級現業員ノ如キハ其ノ素質低  
下漸ク甚シキモノアリ 即チ

近年ノ鐵道事故増加ハ明ニ從事員ノ素質低下ノ一証左ニシテ其ノ  
原因ハ轉送及業務量ノ急激ナル増加ニ對スル施設ノ不備所及物資  
ノ配給不充分等ノ事アルモ最大ノ原因ハ經驗者ノ減少ニ在リ  
ル増加ニ依ルモノニシテ統計ニ見ルモ尋常以來ノ從事員年齢及勤  
績年數ハ逐年低下シツツアリ(昭和十年末ニ於テハ三年未満ノ勤  
務者三一%ヲ占メ后ルモ昨年十一月末ニハ五二%ニ増加シセリ)  
(別表添付)而モ從事員ノ募集難ニ依ル素質低下ハ免レ難ク鐵道  
業務完遂上、從事員ノ養成及素質ノ向上ハ急務中ノ急務ナリトス  
依テ當局トシテハ在來ノ鐵道從事員養成所ノ擴充ハ因ヨリ全從事  
員ニ新設採用者ニ對シテハ洩レ無ク教育及訓練ノ機會ヲ得セシ  
ムルコトトシ左ノ如キ施設ヲ實施シツツアリ

(1) 鐵道從事員養成所

鐵道從事員養成所ハ之ヲ京城、釜山、咸興ノ三箇所ニ設置シ  
專ラ將來朝鮮鐵道ノ中堅タルベキ從事員ヲ養成ス即チ其ノ設  
置科別ヲ本科、別科、專修部及夜學部トシ本科ハ國民學校高  
等科卒業者ヲ入學資格トスル修業年限三年、別科ハ中學校  
卒業者ヲ入學資格トシ修業期間一ケ年トシ何レモ中堅從事員  
ヲ養成ス

專修部ハ各系統職ニ應ジ得ル科外十五科ニ區分シ其ノ修業期  
間ヲ四ケ月乃至一箇年トシ專ラ從事員ノ再教育ヲ目的トシ其  
ノ素質ノ向上ヲ期ス本年度養成人員ハ二七三〇名ナリ

(ロ) 新設採用者ノ養成  
新設採用者ハ可及的早急ニ現場ノ實需ニ應ジシムル必要アル  
タメ業務ノ系統ニ應ジ現場指定學區ニ集團セシメ三ケ月乃至  
二ケ年間專任指導員ニ依リ學校形態ニ依ル組織的教育ト現場  
ニ於ケル實施訓練トヲ併セ實施シタル後所定教師ニ配屬ス之  
ガ爲教育至ノ新増設、指導員ノ配置等ニ付テハ注意努力シツ  
ツアリ、現在教育ヲ實施シツツアルモノ二五〇〇名ナリ

(ハ) 業務從事員ノ復能向上ヲ期スル爲業務從事員講習會ヲ開  
催ス

訓練施設

(1) 交通青年訓練所ノ設置

現在ハ年少従事員ニ萬名ヲ超セル状態ナルガ之ニ對シテハ職能的敎養訓練ヘ絶体ニ必兵ナルト共ニ半島青年ニ徵兵實施セラルニイタリシタメ榮務ノ餘暇ニ訓練ヲ實施シ強健熱烈ナル思想ヲ確立シ官能ノ向上俾刀ノ増進ヲ圖ル目的ヲ以テ京城外三十一箇所ニ青年訓練所ヲ設立シ現在九千名ノ少年局員ニ對シ訓練ヲ實施シツツアルガ其ノ成效ニ鑑ミ將來更ニ増設シ其ノ徹底ヲ期セんとス

(2) 敎養寮ノ設置

年年多岐ノ年少従事員ノ採用ヲ見ツツアルガ之等ニ對シ敎養寮ヲ設置シ一箇所ニ居住セシメ指導者ハ日夜之ト接觸シ全人格的指導ヲ計ルト共ニ集團生活ニ依ル自治的共同的精神ヲ涵養シツツアリ

(3) 一般局員ノ養成方策

大連交通機關トシテ官局ニ負荷セラレタル特殊ノ使命竝ニ兵器トシテノ鐵道ノ重大性ニ鑑ミ特ニ崇高ナル國家觀念ニ徴シ國体ノ本義ニ基キ皇運ヲ扶翼シ舉ル不汲ノ信念ヲ俾待セシム

ルノ必要ナルヲ以テ養成會ヲ隨時開催シテ一般従事員ノ精神ヲ陶冶スルノ外軍事志願敎養ヲ施シナ心身ノ鍛練ヲ圖リ以テ萬全ノ運営ヲ期シツツアリ